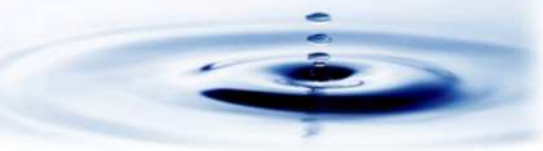


水環境ニュース



猪苗代湖ヒシ刈りボランティア活動(猪苗代町)



夏休み里の川体験(矢吹町 隈戸川)



全日本中学生水の作文福島県コンクール表彰式(福島市)
作文を朗読する秋山さん



赤面山の植林体験(西郷村)



真野ダム

水林自然林

摺上川ダムもにわっ湖

「水環境ニュース」では、県内各地で取り組まれている水環境活動など、水環境に関する情報を発信しています。

今号の記事内容

- ヒシ刈りボランティア活動
 - ・ヒシ刈りボランティア活動実証実験について（福島県水・大気環境課）
- 水との共生プラン
 - ・「ふくしまの水に触れよう」イベントを開催しました！
- その他のトピック
 - ・水資源功績者表彰（西郷村立川谷小・中学校）
 - ・全日本中学生水の作文福島県コンクールの御報告と御案内

ヒシ刈りボランティア活動実証実験について（福島県水・大気環境課）

令和5年8～9月、猪苗代湖白鳥浜において、ヒシ刈りボランティア活動を開催しました。

○目的

猪苗代湖の北岸部では、水生植物「ヒシ」が分布域を拡大しています。ヒシが枯れて腐敗すると、ヒシの栄養分が湖水に溶け出すことから、水質を悪化させる原因の一つと考えられています。

本活動は、ヒシが枯れる前に人力で刈り取り湖外に搬出するもので、平成19年より地元的环境保全団体の方々が活動を始め、これまで関係団体が協力して実施してきました。

しかし、人力によるヒシ刈りは大きな労力と時間が必要であり、夏の炎天下での作業は参加者に与える負荷が大きいたことが課題でした。

そこで今回、作業負荷の低減と効率化を目指し、手法の改良を検討しました。

○検討内容

作業内容の中で、最も作業負荷の大きい、ヒシを湖岸から搬出用車両まで運搬する作業に着目し、新たにヒシの運搬用の器具を検討しました。

改良前



改良後



トリカルネット（プラスチック製の網）に持ち手を付けた器具を作成。担架のようにヒシを運搬。



運搬器具から軽ダンプカーにヒシを直接積込む。

○結果

今年度実証試験として開催した計4回のヒシ刈り活動と、昨年度に当課が開催した一般的な手法によるヒシ刈り活動の実績は表のとおりです。

第1～3回は昨年度の実績より1人あたりの回収量が増加し、効率を上げることができました。第4回は他の回と比較し作業効率の下がる結果となりました。

これは、回が進むにつれ刈取り場所が沖になったため、湖内の刈取り場所から岸への運搬作業に時間を有するようになったことが要因と考えられます。

開催日	参加者数	回収量	1人・1時間あたりの回収量 (kg/人・時間)
第1回 令和5年8月23日	28名	2.2t	95.2 kg
第2回 令和5年8月30日	34名	3.2t	95.0 kg
第3回 令和5年9月9日	24名	2.2t	93.2 kg
第4回 令和5年9月16日	43名	2.5t	52.9 kg
一般的な方法 令和4年9月30日	24名	2.3t	60.6 kg

○謝辞

当該事業の実施にあたっては、NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議様、猪苗代町企画財務課様など関係者の皆様にご助言や軽ダンプカー提供などのご協力を賜りました。

また、参加者の皆様からも、新たなアイデアやご意見をいただき、器具のマイナーチェンジや人員配置を工夫しながら事業を進めることが出来ました。

湖内の運搬方法など、今年度明らかになった課題等は引き続き検討を進めて参ります。



■復興・総合計画課の水環境活動■

各地域の水環境団体が企画したイベントと、復興・総合計画課が企画したイベントを開催しました！

7/23

一般社団法人
里山創生やぶき様から
御提案いただいた
企画イベント
「夏休み里の川体験」
矢吹町を流れる隈戸川の
水と生き物観察を
子どもたちとともに
行いました。



何ていう生き物かな？



シアキャラ、いないかなあ？

9/20

赤面山を
緑にする会様
から御提案
いただいた
企画イベント



赤面山。高低差約450m。
植林場所まで登りました。



Mission1
森林を回復させよ！

堀川流域の
水源を守るため
赤面山の
植生回復と
堀川ダムでの
特定外来生物
駆(食)除体験を
行いました。



Mission2
外来種を駆(食)除せよ！

8/10

県企画
イベント
相馬地方の
水活



水産資源研究所
ヒラメやカレイ等がここで
生まれ育ち、旅に出ます。



真野ダム
ダムによって溜められた水
の役割を学びました。

3種の水
それぞれの
大切さを
実感！



大野台浄水場
真野ダムから流れ着いた水
が、おいしい水道水に！

10/1

県企画イベント
ふくしまの水活
ふるさとの川・荒川
づくり協議会の皆様
NPO法人いざか
サポーターズクラブの皆様の
御協力をいただき、
荒川散策や
カヤック体験を
行いました。



13年連続水質日本一の荒川
を散策し、日本一の河川に
ついて理解を深めました。



摺上川ダムのもにわっ湖にて、
カヌー体験！穏やかな湖面で
楽しいひととき～

「水資源功績者表彰」は、「水の週間」の行事の一環として、国土交通大臣が表彰を行っているものです。

令和5年度は、西郷村立川谷小学校・川谷中学校が受賞されました。



児玉剛明校長

小学校における荒浜小(宮城県)との交流活動、中学校での阿武隈川源流地域における清掃・調査活動等の功績が認められた。今後も活動を続けていきたい。



功績内容

小・中学校を通して、阿武隈川での清掃活動、河口地域の学校との交流学習(流域による河川の姿の違いを体感等)などの上下流交流や、水質調査や河川周辺の植生調査など、地域と連携し水資源の保全活動に取り組み、子どものうちから水資源の大切さを学ぶ機会を創出している。

【小学校】

- ・荒浜小を受け入れ、阿武隈川源流探検(7月)
- ・荒浜小へ訪問し、阿武隈川河口見学、漁船乗船体験・はらこ飯調理実習(9月)

【中学校】

- ・全校生徒による阿武隈川周辺の清掃活動「キレイにしよう大作戦」(7月)
- ・全校生徒による阿武隈川上流(西郷瀨)での水質予備調査(7月)
- ・中学1・2年生による阿武隈川上流(西郷瀨)周辺での水棲生物等調査(8~9月)
- ・中学3年生による阿武隈川上流(西郷瀨)周辺での植生調査(9月)
- ・文化祭にて、小学生・保護者・地域の方々に向け、水質調査結果等を発表(10月)

全日本中学生水の作文福島県コンクール

【ホームページの検索は】

福島 水の作文

検索

★御報告★

県では、『次世代を担う中学生を対象とし、水に対する関心を高め、一層の理解を深めることを目的に、8月1日の「水の日」及び、8月1日から8月7日の「水の週間」の行事の一環として、』「全日本中学生水の作文福島県コンクール」を毎年実施しています。

第45回は、入賞作品15編と学校賞6校を選定しましたので、優秀賞に選定された皆様を御紹介します。

須賀川市立第一中学校	3年	秋山北透さん
須賀川市立第一中学校	2年	伊藤りんさん
相馬市立中村第二中学校	3年	松下心咲さん
葛尾村立葛尾中学校	3年	松本彩楓さん
葛尾村立葛尾中学校	2年	松本晴樹さん ※50音順

なお、秋山北透さんの作品は、国土交通省主催「第45回全日本中学生水の作文コンクール」にて入選されました!

★第46回募集案内★

- 1 応募対象 令和6年度に中学校に在学中の生徒
 - 2 応募締切日 令和6年2月29日(木) 到着分有効
- ※詳細はホームページをご覧ください。



受賞された皆様と福島県企画調整部長



特別講師 佐々木秀明様

ふるさとの川・荒川づくり協議会の佐々木会長をお招きし、「川のゴミ拾いをするとどうなる?」と題して御講演いただきました。

発行者 福島県復興・総合計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号(福島県庁本庁舎5階) TEL (024) 521-7123

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/>

Facebook <https://www.facebook.com/fukushimanomizu/>

Instagram https://www.instagram.com/fukushima_no_mizu/?hl=ja

